

1_最優秀館受賞を山田市長に報告しました 2_平成29年3月に行われた白石笑顔未来塾 3_きらり齋川笑アップ塾の様子。3年間で12回開催し、多くの方が地域への思いや意見を話し合っています 4_笑アップ塾は齋藤主税先生の支援を受けながら進めています



齋川公民館長
はたなか たかお
畑中 多賀男 さん

まずは住民の声を聞くことから

齋川地区を元気にしていくには、住民の悩みや課題を解決して、住みやすい地域にする必要があると考えています。しかし、漠然としたイメージはありましたが、何が課題なのか、何から手を付けて良いか、どう進めれば良いかも分かりませんでした。

— そんななか、平成29年に開催された「白石笑顔未来塾」が大きなきっかけになりました。塾では、今後地域がさらに衰退し、行政もこれまでどおりの支援ができなくなるなかで、地域の課題は地域で解決していく「小規模多機能自治」という考えを学びました。「これだ！」と、齋川地区のこれからの方向性を見つけた気がしました。

地域のごときは地域で解決する

地域の現状を知るため 全住民アンケートを実施

齋川地区で同じ塾ができないか、市教育委員会に相談しました。そこで地域づくりの専門家である齋藤主税先生を紹介してもらい、齋川地区でまちづくり研修会を開催することになりました。それが「きらり齋川笑アップ塾」です。住民が自由に参加し発言できる場として、現在も多くの方が参加しています。

最初の年は、地域の現状や将来の人口状況、個人・年代・自治会ごとに悩みが異なることを学びました。これらを経て、住民の悩みや課題、ニーズを明確にしようとして、中学生以上を対象にした全住民アンケートを採りました。自治会長に配布・回収の協力をいただき、85.5%と高い回収率になりました。「何とかしなければいけない」という危機感が地域にあったからこそ、この結果につながったのだと思います。

アンケートを集計・分析し、住民の思いや考え、そして齋川地区が取り組むべき課題が見えてきました。現在もこの結果をベースにして、笑アップ塾で話し合いを続けています。



▲(右から) 成澤まちづくり協議会長、畑中公民館長、梶川事務員、佐藤事務長

特集・齋川地区 しょう 笑アップ の地域づくり

齋川公民館が最優秀公民館に選ばれる

齋川地区の新しい
地域づくりが評価される

2月14日、特色ある地域住民の学習活動を表彰する「第72回優良公民館表彰」(文部科学省主催)で、全国から選出された75の公民館から、齋川公民館が最優秀館に選ばれました。受賞は東北・県内で初めての高挙となりました。

大きく評価されたのが、住民主体の地域づくりを進める「きらり齋川笑アップ塾」の取り組み。平成29年度から始まった同塾は、地区民など誰もが自由に参加し、地域の課題や意見、アイデアを出す場として開催されています。意見は事業などに反映し、工夫・改善しながら推進されています。若者の意見を取り入れる場づくりや、地域行事の運営改善にも力を入れています。

地元小中学校の閉校で 高まる危機感

齋川地区では、人口減少・少子高齢化が加速しています。国勢調査によると、平成7年から平成27

年の20年間で、人口は約36%減少、特に0〜14歳は約77%が減少するなど、特に少子化が顕著に表れています。平成29年度には齋川小学校、平成30年度には南中学校が閉校となり、齋川地区では将来への危機感が高まっています。

現在、齋川地区では安心安全で魅力あふれる持続可能な齋川地区を目指し、齋川公民館のメンバーを中心に、住民一丸となって地域づくりに取り組んでいます。

(国勢調査データ)

齋川地区	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
総人口(人)	1,561	1,450	1,328	1,179	1,004
	20年間で35.7%減少				
0-14歳(人)	245	185	132	97	58
	20年間で76.3%減少				
15-64歳(人)	945	854	784	695	577
	20年間で38.9%減少				
65歳以上(人)	371	411	412	385	369
	一旦ピークを過ぎ減少傾向				
高齢化率	23.8%	28.3%	31.0%	32.7%	36.8%

齋川地区まちづくりアンケート (中学生以上の全住民を対象としたアンケート)

配布数：963通 回収数：823通 回収率：85.5%

普段の交通手段やインターネット・SNSの利用状況、近所付き合いや地域活動への関心度・参加度、日常の困りごとや齋川地区内の重要度・満足度などを調査。

回答は世代別・性別ごとに集計し、少数の若者・中堅世代の意見が埋没しないようにした。

監修 NPO 法人都岐沙羅パートナーズセンター
集計・分析 おらほの自治を考える会

